

2011年3月11日、東日本で起こった大震災以降、多くのロータリアンがその状況に心を痛み、手を差し伸べようと奔走しました。その様子を「心は共に」のテーマで、毎号、掲載することになりました。今月号では、横組みP16に掲載があります。是非ご一読して頂きたい紹介をさせていただきます

ロータリーの友 編集委員会 地区代表委員 京谷 知明

地区関連の記事

心は共に1 東日本大震災

地区を挙げて被災地を支援 —— 横組みP18 ガバナー米田 真理子

① 私がロータリーに入ったころ(1) —— 横組みP11

バッジを胸にした緊張と感激の日 (和歌山RC 雑賀 正雄)

② 俳壇 —— 縦組みP13

豆撒くや 鉦に当たれば 鉦の音 (堺フェニックスRC 米田 真理子)

③ 柳壇 —— 縦組み P13

花粉症ぐらいで悩むことはない (堺清陵RC 物種 唯修)

④ バナー自慢

串本RC —— 縦組みP17

⑤ ロータリーアットワーク

実物投影機を贈呈 橋本RC —— 縦組みP23

大活字本500冊寄贈 和歌山東南RC —— 縦組みP24

横組み記事

① RI会長メッセージ Show and tell RI会長 レイ・クリンギンスミス P1

私の妻ジュディーは長年幼稚園の先生をしていて、「Show and tell(見せてお話)」のときのことについて、よく話をしてくれました。「Show and tell」の時間には、子どもたちは自分の好きなペットやおもちゃを持ってきて、それについて話します。ニューオーリンズ国際大会は、私にも個人的な「Show and tell」の機会を与えてくれます。コンベンションセンター近くにかかる巨大な道路橋の橋脚、それは、私が50年前、ロータリーの奨学生として、ケープタウンに向かう際、通り抜けた橋そのものです。「これが生涯続く私のロータリー旅の始まりです」と、伝えるのをクリンギンスミス会長は、幸せに思っています。

② 未来へつなぐ若いロータリアン P6-9

少子高齢化社会の進む日本。ロータリークラブでも会員の高齢化を耳にする機会が増えています。会員増強、特に若い世代の獲得が言われる今、20代と30代前半のロータリアンたちが、ロータリークラブに入って感じたこと、体験したことを語ります。

③ 心は共に1 東日本大震災 その時… ロータリーはいち早く動いた P16~19

2011年3月11日、東日本で起こった大震災以降、多くのロータリアンがその状況に心を痛み、手を差し伸べようと奔走しました。その様子を「心は共に」のテーマで、毎号、掲載することになりました。

初回の今回は、震災直後、いち早く動いたロータリアンと財団学友の報告です。

④ RI指定記事 ロータリー入門 GLOBAL OUTLOOK P37-44

特集:ロータリアンのための新世代入門 THE ROTARIAN 5月号

新世代は未来に満ちた人たちです。ロータリーの未来も、彼らに託されます。会員増強のためにも、彼らの未来力をロータリーに取り込むには?

縦組み記事

① 米山記念奨学生と私の夢 P2-6

中国米山学友会華北分会会長／世澤律師事務所パートナー 姫 軍(じ じゅん)

私がロータリアンの皆さまから、そして米山記念奨学会からいただいたものは、奨学金や友情だけではなく、人生の価値観と生き方です。私の夢は「ロータリー精神の理想的な具現者になる」ことです。

② この人、この仕事 サラリーマンから転じて教育界へ P7-9

本郷学園理事長 東京北ロータリークラブ 文・池辺史生 写真・佐藤 敬

8月号からスタートした新コーナーです。クラブを紹介してきた「手に手」に替わり、職業を通じて会員個人を紹介します。今回は東京北ロータリークラブの松平頼武会員です。

③ ロータリー・アット・ワーク P22-26

各ロータリアン、各クラブの個性あふれる意見や活動を紹介しています。